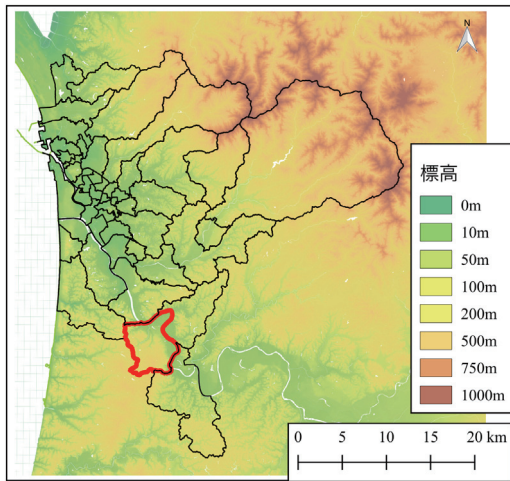


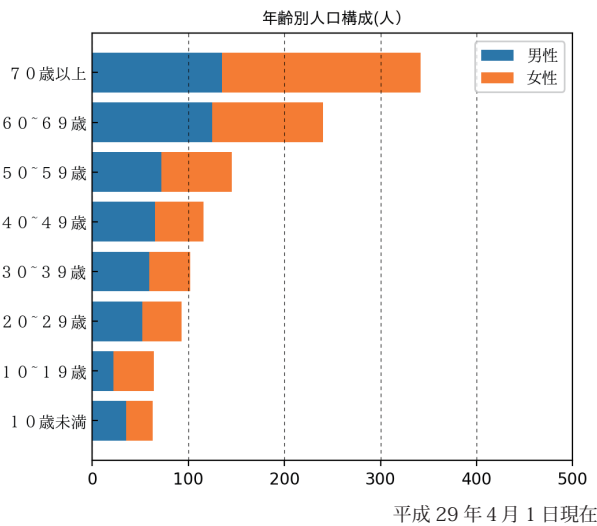
46：雄和小学校（旧戸米川小学校）区

位置図



1 居住者の現況

人口	1,165 人
世帯数	478 世帯
65 歳以上人口	467 人
10 歳未満人口	63 人



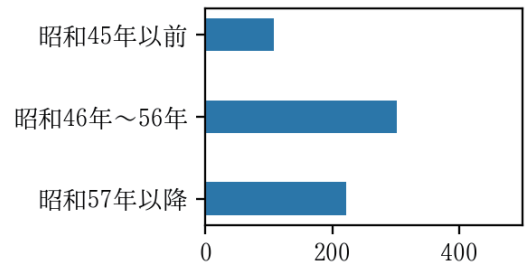
2 建物に関する指標

■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	632
非木造建物	28

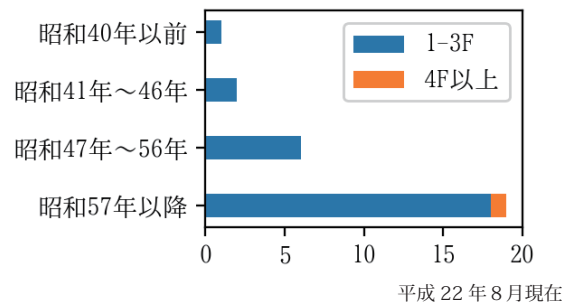
■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	222
昭和46年～56年	302
昭和45年以前	108



■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	18	1
昭和47年～56年	6	0
昭和41年～46年	2	0
昭和40年以前	1	0



自然的・社会的基指標

雄和地区の西部、雄物川の左岸(西側)に位置している。雄物川周辺の低地部を除くとほぼ山地となっている。集落も低地部と山地部の境界付近に散在する。急傾斜地等の危険区域は、南東部に多く分布する。人口構成は、年齢が上がるにつれ構成比率が高い。65歳以上の高齢者層は、全体の40%を占める。建築物のほぼ全数が木造建物である。昭和57年以降の建築物は全体の37%となっている。

3 自然災害に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 洪水

指定河川	雄物川		
浸水面積 (%)	15.1		
最大浸水深 (m)	ランク 5		

■ 土砂災害

* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	5	川崎、白川、御江田、片田、高麓沢
土石流危険渓流	15	御江田沢、高麓沢、寺の沢、石川の沢、川崎沢、川崎沢川、長面沢、猫沢沢、白川沢、宝生口沢、宝生沢 他
地すべり危険箇所	1	水沢
なだれ危険箇所	7	猫沢、宝生口、川崎、白川

* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	0	該当箇所なし
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

■ 地震および津波

* 地震 (どこにでも起こりうる直下の地震: M6.9)

平均震度	震度 6 弱	
(計測震度)	(5.76)	
震度 6 強以上となる面積 (%)	7	
液状化危険度ランク	4	
建物全壊率 (%)	3.9	

* 津波 (秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合)

浸水面積 (%)	(該当なし)
最大浸水深 (m)	(該当なし)

4 災害時要配慮者に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 要支援者関連施設 (収容施設のみ)

種別	施設数
高齢者支援	1
婦人幼児支援	0
障がい者等支援	3

■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	0
こども園	0
幼稚園	0

■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	0

■ 学校等

種別	施設数
小学校	0
中学校	0
高等学校	0
大学・短大・高専	0
養護学校等	0

5 防火・防災施設に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 消防関連施設

消火栓数 (箇所)	47
防火水槽 (箇所)	29
消防車台数 (台)	10
消防ポンプ数 (台)	3
消防団員数 (人)	41

■ 避難所/避難場所 (別表参照)

災害種別	施設数
洪水	2
土砂災害	2
地震	2
津波	0
福祉避難所	1
津波避難ビル	0
津波警報サイレン	0

■ 救急・防災関連施設

種別	名称/箇所数
管轄消防署	秋田南消防署
管轄警察署	秋田東警察署
病院・医院数 (歯科を除く)	0
最寄りの救急告示病院	秋田赤十字病院
自主防災組織数	4

自然災害時の危険要素

雄物川の氾濫により、学校区の平地が広く浸水域となると想定されている。相川地区や戸賀沢地区の集落の一部においても浸水の可能性がある。

土砂災害の危険性の高い箇所は多く指摘されているが、現時点では警戒区域等の指定はない。

相川地区の一部がやや強い揺れとなることを除いてほぼ全域で同等の揺れやすさである。低平地において液状化の危険性が高い。津波による浸水の可能性は想定されていない。

防災上の課題と対策

戸米川小学校区は、雄物川左岸の相川、戸賀沢、女米木地区などの集落からなる。緊急輸送道路である県道秋田雄和本荘線と県道雄和岩城線が学校区外への主要な連絡道路であることから、災害時の交通の確保が重要となる。地域の建物の多くが旧耐震建築物である。

避難所まで距離がある集落が多いことから、一時的な避難の方法について地域単位で検討しておく必要がある。地域内の協同・相互補助の意識は高いと見られるが、人口が少

なく、かつ高齢者比率が高いことから、防災関連の知識および情報の周知徹底や、防災訓練等による地域防災活動の活性化などの各種の支援に加え、地域間協力および補助団体との提携などについても検討が望まれる。



■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ/ 土石流	地震	津波	大規模火災	
旧戸米川小学校（体育館）	○	○	○	○	x	x	203 人
旧戸米川小学校グラウンド	x	○	○	○	x	x	9,745 人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
障害者支援施設 雄高園	雄和戸賀沢字金山沢 89-29	018-886-3256

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
(該当なし)			

津波警報サイレン

施設	所在地
(該当なし)	

